

緑いきつく 火の神の里



市章

広報

2005

4月
No3



ホームページ：<http://www.city.aso.kumamoto.jp/>

原野を走る炎を見つめ

写真は、野焼きを実習する阿蘇清峰高等学校林業農業土木科の生徒44人。場所は、小柏の学校演習林周辺。夏に先輩が3Kmの防火帯をつくってくれている。
歴史ある阿蘇の野焼きを君たちに託す。

主な内容

- 2・3P 3月定例議会
- 4~7P 地域を知ろう（各区長紹介）
- 8P 消防団辞令交付式・分団長名簿
- 9~13P お知らせ
- 14~15P まちづくり紹介（波野）
- 16~21P まちのわざい
- 22P 「人」渡邊健児氏
- 23P Let's English
- 24~31P お知らせ
- 33P おめでとうコーナー



人口（平成17年2月28日現在）

人口：30,369人

男：14,257人 女：16,112人

世帯：10,547世帯

3月定例市議会

平成17年度暫定予算など審議

3月定例市議会で次の人事案件も承認されましたので、ご紹介します。

3月定例阿蘇市議会が、3月11日から21日間の会期で開かれました。今議会では、条例案8件、予算案31件、その他の案16件の計55件が議決等されました。平成16年度一般会計予算は、町村合併に伴い旧3町村の組替予算(2月11日～3月31日分)を編成した暫定予算で、歳入歳出予算総額56億8851万8千円となりました。

また、平成17年度一般会計予算は、市长選挙の関係から、6月までの人物費など義務的経費を中心とした暫定予算とし、38億6438万1千円が承認されました。なお、本予算は6月定例議会で審議されます。

議案の主なもの

【A.S.O田園空間博物館総合案内所条例の制定】

阿蘇市全体を屋根のない博物館にたとえ、有形・無形の地域資源を保全活用する田園空間博物館の拠点施設として、また、情報の受発信と地域住民参加による交流活動の拠点となる場所として、この施設を提供し、まちづくりの推進と地域の活性化に資するために、新たに条例を制定するものです。

▲提案理由を述べる市長（市役所議会棟）



【阿蘇市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定】
平成14年12月に法令に基づく申請・届出等をインターネットを介して行えるよう「行政手続オンライン化関係三法」が国で定められ、地方公共団体において

教育委員会委員

市の学校教育、社会教育等の教育行政を適正に管理運営していくものです。

| | |
|------|----|
| 大塚國勝 | 滝水 |
| 池邊公生 | 宮地 |
| 中村裕典 | 湯浦 |
| 相部弘子 | 宮地 |

固定資産評価審査委員会

固定資産課税台帳に登録された内容について、納税者に不満がある場合に審査の申請を受け付けています。

| | |
|------|-----|
| 古市陸男 | 宮地 |
| 中川武雄 | 坂梨 |
| 家入輝喜 | 西町 |
| 山内光男 | 内牧 |
| 市原誠夫 | 狩尾 |
| 赤迫朝昭 | 赤仁田 |

人権擁護委員

任期満了に伴い、林秀峰さん（宮地）が再任されました。

監査委員

市の行政が地方自治の本旨に基づいてなされているか、行財政が法令等に従って適正に行われているか、最小限の経費で最大の効果をあげているかどうかといった観点から監査を行います。

| | | |
|------|------|----|
| 議員選出 | 後藤新一 | 波野 |
| 学職者 | 佐伯和弘 | 山田 |

選挙管理委員

選挙が民主的かつ公正に行われるようにするため、議会で選任同意された委員により組織されています。

選挙がないときも、選挙人名簿の定時登録や、検察審査会委員候補者の選定等を行っています。

| | |
|------|-----|
| 児玉勝 | 坂梨 |
| 佐伯主計 | 小野田 |
| 古澤一丸 | 滝水 |
| 宮本健二 | 黒川 |

ても、情報システムの整備及び条例等の整備について必要な措置を講ずるよう規定しています。

これにより、平成15年10月から「熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会」を設置し、熊本

県と市町村共同で電子申請受付システムの開発を行っています。この電子申請受付システムの運用を平成17年3月から予定しております、申請・届出等についてもオンラインで手続きできるようになります。ために条例を制定する

すでにご承知のとおり、このたびの合併は国、県、町村の財政が逼迫し、このままでは行政はやつていけないということで、平成11年、地方分権一括法が制定され、2町1村が平成17年2月11日対等合併し、阿蘇市が誕生いたしました。合併後10年間で発行できる合併特例債118億円については、国が約6割面倒を見ますが、3.4割程度はその自治体が負います。そのため一刻も早く行財政基盤の確立を真剣に図っていきながら今後の将来の阿蘇市の土台作りを考えていかなければなりません。

私たちの阿蘇市を考えたとき、以前は阿蘇の中心地として栄えていたところが寂しい地域と化し、6～7年後には九州新幹線の全線開通により、南阿蘇の依山トンネルが阿蘇の玄関口として栄えていく予測ができ、観光客が訪れてても完全に通過するだけの所となりかねません。

これから一層、互いの連携を深め、観光と農業、流通、販路の拡大と宣伝による、経済の底上げを図つていくことが大切であり、勿論、市民の安全と福祉、教育、医療の充実は言うまでもありません。

阿蘇市の重要な事項を協議するため、市長の諮問機関として、阿蘇市総合計画策定審議会を設置するものです。

本定例議会は市長選挙直後の3月定例会とい

ることで、平成17年度の一般会計予算も政策的経費を含まない暫定予算です。今後、さらに無駄を省き、費用対効果を図りながら、公平、公正な視点で新市建設の政策をたて、6月定例会で、本来の施政方針を打出したいと考えております。

提案理由の前に市長が述べました 挨拶の一部をお知らせします。

阿蘇市農業委員会

農地の売買や賃貸借、農地転用についてのご相談は、まずは地区の農業委員にお尋ね下さい。

会長：佐藤健二

会長職務代理者：渡邊金久

| 氏名 | 担当地区 | 氏名 | 担当地区 | 氏名 | 担当地区 |
|--------|-------------------|--------|----------------|--------|----------------|
| 田島 今朝信 | 町1・2区・北1・2区 | 鎌倉 善光 | 狩尾3区 | 岩本 勝之 | 東黒川・坊中・北黒川 |
| 渡邊 靖昭 | 福原・馬場・豆札 | 佐藤 一郎 | 鷺の石・原の口・山田・茗ヶ原 | 山中 丑男 | 小池・黒流町・今町 |
| 阿蘇品 豊 | 古城3の1・3の2区 | 宮本 吉博 | 南黒川・元黒川・上西黒川 | 山本 義輝 | 下の原・新村・小野田町・本村 |
| 八木 真 | 東1・2・3区 | 前田 宗一郎 | 湯浦・西湯浦・深葉 | 洞田貴 誠也 | 成川 |
| 後藤 和史 | 分1・2・3区・古神1区 | 小野 龍臣 | 内牧1・2・3・4区 | 佐藤 健二 | 狩尾2区 |
| 廣瀬 郁夫 | 上西河原・下西河原 | 中島 一雄 | 下西黒川・乙姫・黒川千丁 | 松下 純雄 | 小園・小地野 |
| 井 春喜 | 古城1・2区 | 永富 久雄 | 狩尾1区 | 渡邊 恵喜 | 仁田水・山崎 |
| 井上 栄一 | 西井手・上東下原・下東下原 | 園田 政範 | 道尻・下役犬原・上役犬原 | 古澤 安則 | 滝水 |
| 渡邊 金久 | 古城4区 | 川上 茂 | 永草・枳 | 樋木野 和幸 | 樋木野 |
| 甲斐 誠一 | 古閑・神石・福岡 | 宮川 岐一 | 跡ヶ瀬・的石 | 岩下 道幸 | 坂の上・大道 |
| 吉岡 正明 | 片隅 | 小坂 今朝和 | 赤水 | 佐藤 治雄 | 中江 |
| 森永 義幸 | 古城5の1・5の2区 | 西村 光明 | 小倉・西小倉 | 古澤 茂盛 | 赤仁田 |
| 山部 今朝範 | 古城6・7区 | 嶋津 隆 | 小里・南宮原・西小園 | 石部 初雄 | 立塚 |
| 菅 晃生 | 上町・東仲町・西仲町・下町・櫻町 | 西村 勇誠 | 西町・竹原・蔵原 | 後藤 義雄 | 横堀 |
| 中村 秀樹 | 荻の草・舞谷 | 山本 孝徳 | 車帰 | 市原 正次 | 笹倉・小地野 |
| 小代 輝義 | 西1・2・3区・古神2・3区・塙塙 | 塙本 恭弘 | 内牧5区・折戸・宇土・浜川 | 市原 豊一 | 中道・遊雀 |
| 岩下 岩雄 | 原口・上井手・下井手 | 野田 好一 | 下西黒川・乙姫・黒川千丁 | | |
| 岩本 秀美 | 中原・西下原 | 大和 建一 | 小池・黒流町・今町 | | |